

科目名	認知心理学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			法律学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	Cognitive Psychology	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	せと ひろし	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	瀬戸 泰	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	人は、自身を取り巻く環境をどのように認識し、処理しているのでしょうか。認知心理学は、こうした心の働きを科学的に明らかにしようとする心理学の分野です。本授業では、認知心理学に関する基本的な理論や考え方を学びます。				
到達目標	1. 認知心理学に関する基礎的な内容を理解し、説明することができる。 2. 日常生活における身近な出来事や現象について、認知心理学的な知見を当てはめ、考察できる。				
授業概要	認知心理学に関する代表的な理論や考え方を学び、認知の仕組みや機能について理解する。				
授業計画					
第1回	イントロダクション (授業の概要・認知心理学とは)				
第2回	感覚・知覚 (情報をインプットする)				
第3回	注意 (情報を選択・調整する)				
第4回	記憶 (情報を格納し参照する)				
第5回	感情 (喜怒哀楽の生成と認知との関係)				
第6回	カテゴリー化 (情報を仕分け整理する)				
第7回	知能と認知スタイル (環境への適応能力と環境の捉え方)				
第8回	知識の表象と構造 (知識はどのように保存・表現されるか)				
第9回	問題解決と推論 (様々な思考方策)				
第10回	判断と意思決定 (選択の決定と歪み)				
第11回	文化と認知 (文化差による認知への影響)				
第12回	認知の障害 (脳機能の概要と疾患)				
第13回	心理療法と認知① (認知に働きかける心理療法)				
第14回	心理療法と認知②				
第15回	認知心理学の広がりと応用				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください (1時間程度)。 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めて下さい。				
履修条件 受講のルール	履修のための条件はありません。				
テキスト	毎回、講義用レジュメを配布します。				
参考文献・資料	子安増生、二宮克美 (編) 『キーワードコレクション 認知心理学』 (新曜社、2011年)				
成績評価の方法	試験 70%、毎回のコメントシート 30% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				

オフィスアワー	毎週月曜日・水曜日 10:30~12:00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	心理職(臨床心理士、公認心理師)として相談援助に携わってきました。「心理療法と認知」の回では、実際の事例を通じてどのような心理的援助が行われているかについても紹介したいと考えています。
学生へのメッセージ	認知心理学は、私たちがどのように外の世界をインプットし、処理し、アウトプットしていくかという一連の流れを研究していく学問です。つまり、私たちが常日頃、頭の中で行っていることを客観的に整理し、理論づけていくこととも言えますが、そのことを通じて、自分自身や他者、ひいては社会に対する見方や視野が広がっていくものと思います。